

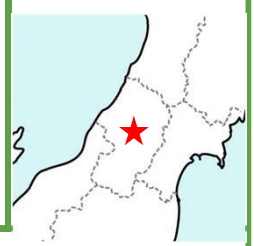
## R4開始

しんじょうし

# 新庄市(山形県)

## 主な品目

- 水稲



## 実施体制

新庄市、農業者、県普及課(指導・助言)  
消費者グループ 等

## 面積情報

有機農業取組面積:106.8ha  
耕地面積に占める割合:2.0%  
(令和5年度時点)

## 1 背景・課題

本市の農業は、「水稲」を中心に「にら」、「ねぎ」、「アスパラガス」などの園芸作物や畜産などの複合経営を行っている。  
有機農業の取組拡大に向けては、モデル地区を選定し実践者を増加させる取り組みや、農業生産に由来する環境への負担をできる限り低減した生産方式への転換を図り、化学合成肥料や化学合成農薬などの使用を低減するため環境保全型農業の取組を実践している。

## 2 成果目標

有機農業に取組む農業者の割合  
R3年度 3% → R9年度 5%  
有機栽培のうち水稲の面積  
R3年度 10.0ha → R9年度 12.0ha  
有機栽培のうち大豆の面積  
R3年度 1.0ha → R9年度 5.0ha  
有機栽培のうち有機野菜の面積  
R3年度 0.4ha → R9年度 2.4ha  
有機農産物の販売数量  
R3年度 33t → R9年度 47t

## 3 主な取組内容

### 生産

- 有機水稲栽培における適切な圃場管理技術の習得
- 新規有機農業者の育成に向けた技術講習会の開催



技術習得のための研修会と圃場の見学。

### 加工・流通・消費

- 学校給食における有機農産物活用の促進
- 消費者との交流会の開催



有機農産物を試食するワークショップを開催。



新規有機農業者の育成に向けたセミナーを開催。

## 4 これまでの成果

学校給食への有機米の提供とオーガニックフェスの開催を通じて、有機栽培取組面積、耕地面積に占める割合が向上した。

【有機給食の実施回数】  
R3年度 0回 → R6年度1回

## 5 今後の展望

稲の有機農業において特に課題となる「雑草防除」について、自動抑草ロボットを活用した除草作業の省力化効果を検証し、有機栽培の取組面積の拡大につなげる。